

明神岳東稜(敗退) 山行報告

(山域) 北アルプス南部

(コース) 明神岳東稜

(日時) 2018年4月23日(月)～24日(火)

(天候) 4月23日(月): 晴れ、4月24日(火): 雨

(参加者) CL 松原、山本(晃)

(山行タイム)

4月23日(月)

2:00 船橋出発→5:45 沢渡駐車場→6:10 バス乗車→6:30 上高地バスターミナル→7:00 河童橋→
7:40 明神橋→7:50 養魚場→9:00 宮川のCOL→10:50 ひょうたん池→13:30 第一階段上→撤退
→15:15 ひょうたん池→16:00 宮川のCOL→17:10 養魚場→17:30 明神館→18:00 小梨平→幕営

4月24日(火)

7:00 起床→8:25 上高地バスターミナル→8:50 沢渡駐車場→帰葉

(山行報告)

今シーズン最後の雪山のつもりで明神岳東稜に登ってきました。天気予報があまりよくなく、出発の前日になるまで好転したり悪化したり。結局は二日目に雨に濡れるのが嫌で、途中まで登って引き返してきました。

4月23日(月)

午前2時に船橋で山本さんと合流。沢渡で始発のバスに乗るために早めの出発。首都高を通過して中央道を順調に走っていたが、須玉を過ぎて空腹を感じ始めた頃になんとか腹痛に襲われる。長坂を過ぎたころには痛みが耐えがなくなり、八ヶ岳PAに立ち寄る。お茶を飲んだら少し痛みが和らいだ。再び車を走らせて、松本インターで高速を降り、コンビニで買出し。腹痛が治まらず不安を感じながら、恐る恐る朝飯のサンドイッチを食べる、すると腹痛が治まった。空腹が原因で腹痛になることなんて初めてだ。

コンビニで買出しを済ませて沢渡へ。沢渡の到着は5:42。バスの始発は5:40。腹痛がなければ始発のバスに間に合ったかも。次発は6:10なので30分のロス。

バスに乗って6:30に上高地バスターミナルに到着。支度を済ませて出発し、7:00前に河童橋に到着。山本さんがバラクラバを持参し忘れたので、ホテルの売店で購入できないか尋ねてみたが、開店前だったので購入できず。結局はバラクラバを使うようなことはなかったの、購入できないでよかった。

バスに乗り遅れた時間を取り戻すべく、速



河童橋

足で明神館へ向かう。途中、小梨平の近辺にくにフキノトウがたくさん生えていた。7:40前に明神館に到着、明神橋を通過したのが7:40。急いで歩いたおかげで想定よりも早い。明神橋を渡ったところで、間違えて左の嘉門次小屋に向かってしまう、正解は橋から右だった。少し迷ったが、間違いに気づいて引き返し、養魚場に到着できた。ここから沢を渡ってすぐのところでも少し迷ったが、なんとか踏み跡を見つけて出発。

樹林帯の踏み跡は明瞭だったが、すぐにガレた沢に入る。歩きにくいし踏み跡もわかりにくい。雪渓も出て来て踏み抜きが厄介である。苦労して登って、やっとのことで宮川のコルに到着。ここで9:00過ぎ。小休止してから歩き出す。ここからは雪渓。上部を見ると崩れそうな雪があり、気持ち悪く感じながら登る。たまに踏み抜く。上部では傾斜が強くなってきて、慎重に雪を蹴り込んで登る。ひょうたん池に到着は10:50。計画よりもだいぶ早く到着できた。もしかして、このペースなら今日中に岳沢小屋まで抜けられるのではないか。そうすれば明日の雨での苦労も大したことはないだろう。その気になって登り始める。

アイゼンとハーネスをつけ、登攀の準備を整える。11:15にひょうたん池を出発。気温は高いが、雪の状態はそんなに悪くない。トレースもあるが、歩きやすそうなルートを選んで進む。雪の切れた部分もあり、慎重に乗り越える。11:40頃に第一階段基部に到着。

目の前の雪は切れてしまっている。トレースは雪を通っているが、たぶん数日前のもので、その時は登れたのだろう。左下にハーケンが見える。無雪期のルートで使うものが露出しているのだろうか。とにかく、目の前の切れた雪が悪そうである。ロープを出すほどでもないように見えたが、本当はロープを出した方がよかった、しかし、支点を構築するのにクライムダウンが必要だったりして面倒に感じ、とりあえず私が一人でロープ無しで登ってみることにした。すぐに行き詰る。傾斜は強く、雪は緩い。バイルのシャフトを慎重に雪に刺し、足も慎重に蹴り込む。2メートルも登ったところで、足元の雪が崩れて滑落。8メートル程度のところで運よくクレバス



養魚場



ひょうたん池



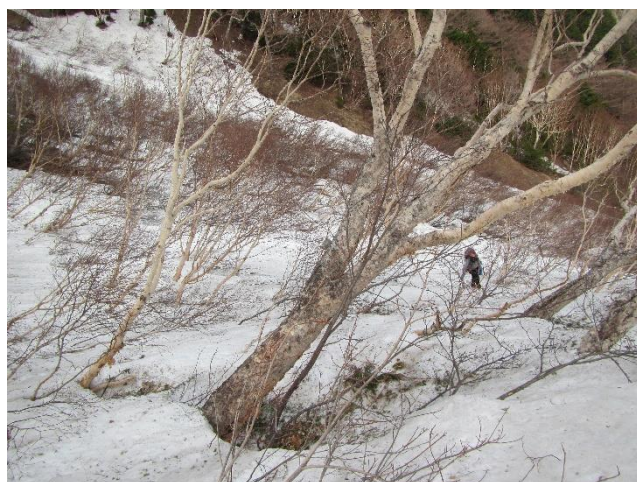
ひょうたん池からの主峰東稜

に着地して停止。止まれずに落ちていたらただでは済まなかっただろう。バイルは2本とも落ちた雪の上に刺さったまま、回収せねば。雪のすぐ左は岩が露出しており、登れそうである。岩の取付きには残置ハーケンが数本ある。山本さんに左下の岩の取付きまで移動してもらい、自分もそこまで登り返す。ロープを結んで岩を登り始める。下から見ると簡単に登れそうだったが、そんなことはない、階段なんて冗談じゃない。5メートルほど登ったところにあるバンドに立ち、右へトラバース、雪に乗ってバイルを回収した。一段上のバンドで左に戻りクライミング再開。40メートルほどで岩場を抜けて、木に支点を取ってビレイ。13時過ぎに山本さんと合流。ここで進むか戻るか悩む。日没までに岳沢まで抜けるのは難しそうである。登り続ければどこかで幕営。スマホで明日の天気を調べると、今朝に調べた時よりも悪化しており、4時頃から雨の予報。幕営地から進むにしろ戻るにしろ、雨に濡れて行動するのはつらいだろう。ここで撤退することに決めた。

懸垂下降を数回と歩きで、ひょうたん池に15:15頃到着。休まずに沢を下る。途中でシリセードを試みるも、うまく滑れずに断念、歩いて降りる。ルートどりを間違えて沢のトラバースで藪に入ってしまう、苦労した。上からちゃんとルートを確認しておけばよかったのだろう。16:00 宮川のコルに到着。ここで装備を解いて、荷物を整理しながら軽く反省会。宮川のコルからは緩い雪渓の踏み抜きとガレ場の歩きに苦労する。養魚場には17:10 到着。明神橋で外人を連れたガイドと少し話して、17:30 明神館に到着。明神館で生ビールを飲むつもりだったのに、今日はまだ準備作業中で購入できずがっかり。仕方なく小梨平へ向かって歩く。18:00 過ぎに小梨平に到着し、キャンプ場の受付でビールを購入できないかダメもとで尋ねると、閉店直後の隣の売店で購入させてもらえた。うれしくてビールとワインとおつまみと、大量購入してしまった。キャンプ場の受付でビール等の代金を支払い、幕営の受付も済ませた。テントを張る前にベンチで宴会を開始。しばらく飲んで、真っ暗になってからテントを設営。20:



帰路



やぶ



反省会



購入品



テント設営

00 前に設営完了、ペグの代わりに使用したバイルが非常に具合良かった。テントでまたしばらく飲んで就寝。

4 月 24 日(火)

寝ながら何度か目が覚めた。雨が降っているようだ。7:00 前、昨日と同じく腹痛に襲われる。山本さんが胃薬をくれて、飲むと痛みが治まった。ありがとうございます。原因は酒の飲みすぎか？屋根のある炊事場に移動して身支度を整える。8:00 頃に小梨平を出発して上高地バスターミナルへ。8:25 発のバスに乗って、8:45 頃に沢渡駐車場着。

帰葉の途中で三鷹のクライミングジムに寄ってみるつもりだったが、なんとホールド替えのために臨時休業。代わりに神田の古書店街と登山用品店に寄ってから帰った。



炊事場で身支度